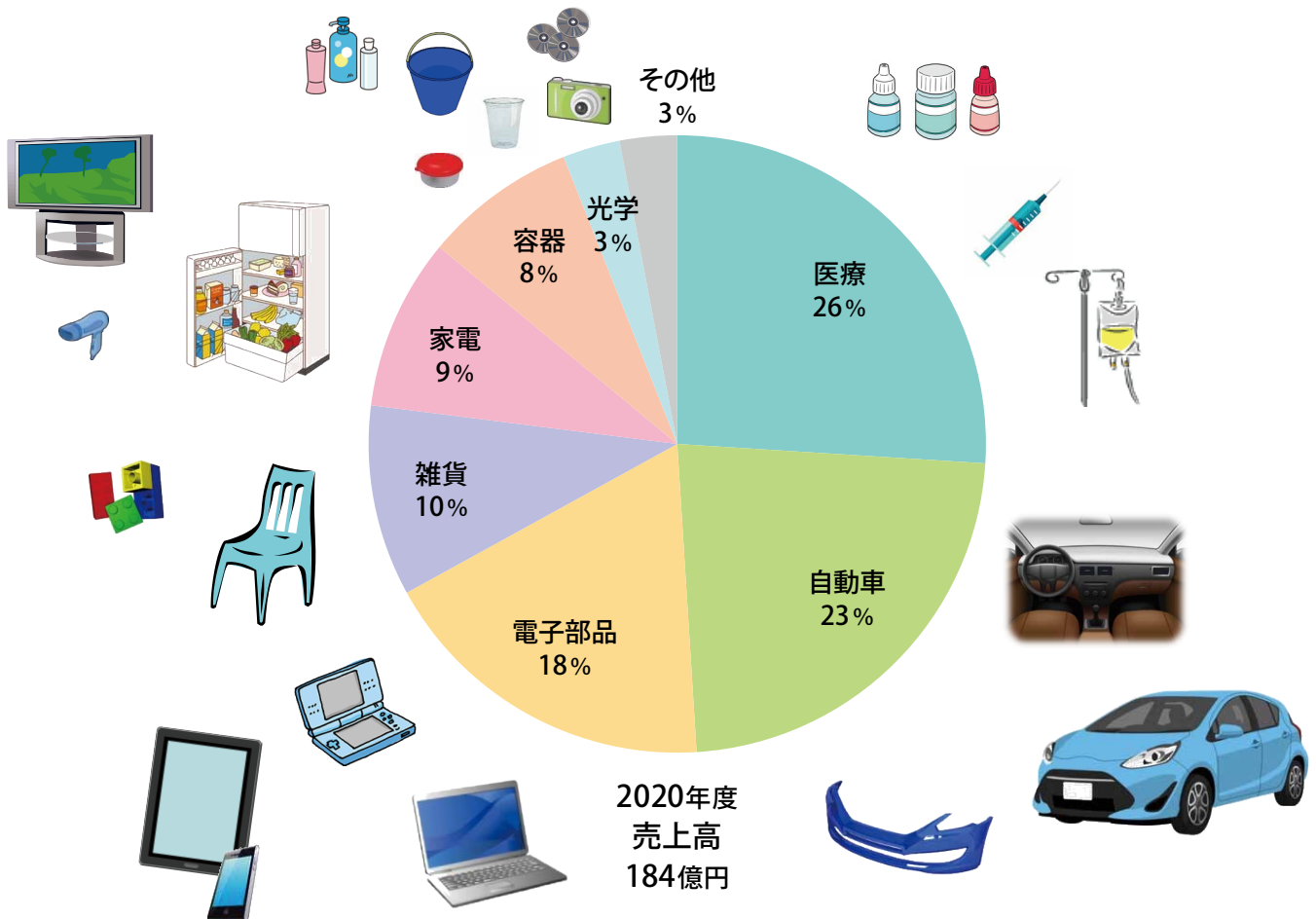


業種別売上分析

◆ 幅広い業種でユーシン精機のロボットが使用されています

ユーシン精機のロボットは、プラスチック射出成形品の生産工場で活躍しています。そのためプラスチックを扱う多様な業種に事業展開しています。直近では自動車業界と医療業界への比率が高まっています。自動車業界では、部品の多くがプラスチックで代用されるようになり、軽量化ニーズも相まって、売上を伸ばしてきました。医療分野においては、衛生面の考慮から従来ガラス製であったものが使い捨てプラスチック製へと置き換わり、大量生産が行われております。ロボットの稼働スピード・正確性を強みとする当社にとっては、親和性の高い業界といえます。

2020年度は、医療業界向け売上比率が初めてトップとなりました。海外向け大型案件があったこと、コロナ対策向け検査キット等の需要があったこと等によるものです。自動車業界向けは、国内市場低迷の影響がありました。この数年は自動車業界向け売上比率がトップとなっており、市況の回復とともにさらなる伸びが期待できる分野です。電子部品業界は、中国の市況回復に伴い、下半期で売上を伸ばしました。



今後の成長戦略

多業種に展開することで、特定の業界の不況等に対するリスク分散が図られていると考えています。今後も引き続き、特定分野に偏りが生じない売上構成を目指していきます。その一方で、軽量化が求められる自動車業界、衛生への要望が強い医療分野でのプラスチックニーズは今以上に強くなると考えています。これらの分野は今後の事業発展のドライバーとなると見込んでおります。また、業界特有のニーズを満たした商品開発に注力してまいります。